

但馬の青少年

令和6年3月
但馬青少年本部だより第63号
編集・発行

但馬青少年本部

〒668-0025 豊岡市幸町7-11
但馬県民局地域政策室協働推進課内
TEL 0796-26-3648
FAX 0796-23-1476



「宮内幟まわし保存会」 P4に紹介記事



自然の恵みを想い 真の人間力を

但馬青少年本部長
石田 俊一

春の草花がようやく準備を始める頃となりました。勢いを感じるうれしい季節です。がしかし振り返ると、あの穏やかなお正月を直撃した震度7の能登半島地震は、私たちに津波、土砂崩れの恐怖を見せつけました。死者は二百数十人にもほり、多数の行方不明者の捜索に全国から救援隊が出勤し必死の活動が続けられています。コロナ禍の災厄にようやく一筋の光が見えてきた今、日常を奈落の底に突き落とす天災の怖さに慄いています。

そしてまた、私たちの「社会不安」には、国難ともいわれる「少子化」の問題があります。先頃発表された2050年までの推計人口では、兵庫県全体で20.3%減、但馬で42.2%減です。そして香美町、新温泉町では半減するとの予測です。限界集落ではと

うてい地域社会としての維持は困難です。何としても克服しなければなりません。そこで少子化の原因には「結婚数の減少」が直結していると言われ、その政策は経済対策が最重要と示されています。

しかし私は未婚化の問題は経済政策のみでは解決できないと考えていたところ、ある少子化対策の研究者が「未婚化」の原因を全て経済問題とする見方に異議を唱え、未婚化と並行して増えている「非交際化」こそが大きな要因で、根底には男女の「好きになる力」の問題だと分析しています。まずは「他者を好きになる力」そして「一緒になりたいと行動する力が重要だ」と指摘しています。

私は思います。人は自然界に生きています。人、社会、自然の調和の中で生かされています。ひょうご青少年憲章に「自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも…」とありますが、私たちは春の花を喜び、夜空の星に心洗われ、海山の景色に我を忘れ、季節感あふれる生活（自然界のあたりまえの営み）の中にこそ他者を好きになる力は育まれるのではないかと信じます。

山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会

今年度は10月28日(土)に全但バス但馬ドーム周辺駅伝コース(豊岡市日高町名色)にて、第9回山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会兼第33回但馬小学生駅伝競走大会を開催しました。この大会は長距離走を通して個人の心身を鍛えるとともに、1本のタスキをつなぎながらゴールを目指すなかで、仲間意識の醸成を図り、山陰海岸ジオパークエリアの小学生同士の府県を越えた交流を図ることを目的としています。

当日は但馬地域、京都府京丹後市及び鳥取県岩美町から合わせて26チームの小学生198名が参加しました。競技開始までには心配された雨もあがり、各校の子どもたちは、沢山の声援の中、一杯走りきり、仲間との絆を確かめました。

順位	タイム	チーム名
1位	43'43"	豊岡市立五荘小学校
2位	46'44"	養父市立八鹿小学校
3位	46'58"	豊岡市立田鶴野小学校
4位	47'33"	豊岡市立新田小学校
5位	48'38"	香美町立香住小学校
6位	48'44"	香美町立小代小学校
7位	48'46"	豊岡市立豊岡小学校
8位	48'47"	豊岡市立城崎小学校



但馬中学生からのメッセージ

～私の主張 2023～



8月5日(土)に但馬長寿の郷にて弁論大会を開催しました。そこで、但馬管内6ブロックの代表が日常生活や団体活動等の体験を通して、考えていること、感じていることや未来への希望、提案などを主張しました。

小代中学校3年生の中村心優さんが最優秀賞の「但馬青少年本部長賞」を受賞。「今の一瞬を大切に」と題し、ご高齢のおばちゃんに通っている生け花教室の人たちとのふれあいから話が始まり、人と人が顔と顔を合わせて会話することの素晴らしさや心地良さに気付き、特に異年齢の者どうしがお互いをいたわる気遣いについてふれ、命に限りがあることから、いつまでも続くことのないこの一瞬一瞬を大切にしたいという語り口に思わず胸が熱くなりました。コロナ禍やネット社会の進展の影響があり、人間同士の心の交流が希薄になってきている昨今であるからこそ、このような想いを大切にしなければなりません。

中村さんは但馬代表として、9月23日(土)に開催された県大会に出場し、多くの聴衆の前で堂々と発表しました。

○但馬青少年本部長賞(最優秀賞)

「今の一瞬を大切に」

香美町立小代中学校 3年 中村 心優

○但馬中学校長会長賞(優秀賞)

「防災でつなく僕たちの命」

香美町立香住第一中学校 3年 川西 漱吾

「私が望む町の未来」

豊岡市立城崎中学校 3年 井垣 れん

○奨励賞

「今の自分にできること」

朝来市立和田山中学校 3年 越智 羽音

「ネット社会の生き方」

養父市立大屋中学校 2年 西谷 歩音

「明るい社会に向けて」

豊岡市立日高東中学校 3年 寶代地 遼



但馬青少年本部長表彰

地域で日常、地道にしかも他の模範となるような活動を進めている青少年、青少年指導者及び青少年団体、グループ等を表彰しています。今年度は8月5日（土）に但馬長寿の郷にて表彰式を行いました。

平成7年度から実施しており、これまで青少年、青少年指導者の部 65 名、青少年団体・グループの部 76 団体が受賞。令和5年度の受賞者・団体は、次のとおりです。 ※敬称は省略しています。

◆ 青少年、青少年指導者の部(1名) ◆

社会参加

三輪 一三(香美町)



平成16年から現在まで、19年の長きにわたり、朝の通学通勤時間帯にJR香住駅踏切付近で、幼稚園児から高校生、社会人などの地域住民の交通指導や見守り活動を実施され、地域の青少年の健全育成に多大な貢献をされた。

実施され、地域の青少年の健全育成に多大な貢献をされた。



◆ 青少年団体・グループ等の部(1団体) ◆

地域おこし 兵庫県立生野高等学校(朝来市)

令和元年度より、全校生徒各自が年単位で地域に根ざしたテーマを設定し、地域の企業・団体等の協力を得て、課題解決型の学び「ゆめいくプロジェクト」を行っている。

朝来市をPRするスイーツの開発やオオサンショウウオの生態研究と保護に向けた啓発、「生野銀谷まち歩き図」の作成・配布など市の観光PRや地域おこしに積極的に取り組み、観光振興に貢献された。また、「銀谷まつり」など町の行事に運営補助として積極的に参加し、地域おこしの重要なメンバーとして活躍している。



青少年を守り育てるスクラム運動の推進

青少年を取り巻く環境浄化に向けて、今年度は日高東・日高西中学校区、養父・大屋中学校区、香住第一中学校区で、それぞれの小中PTAと警察、市町担当者と合同で有害環境実態調査を実施しました。青少年愛護条例の説明を聞いてから実際に町内の各店舗を調査していきました。青少年育成の観点で調査していくと新たな気づきがあります。ぜひ多くの方に環境浄化に向けて主体的に関わってほしいです。

また、但馬青少年本部では、青少年育成関係団体（26 団体）とともに、「但馬地域スクラム会議」を6月30日（金）豊岡総合庁舎にて開催し、青少年の健全育成に向けた取組を進めています。



スクラム会議

子どもの健康に配慮した適切なスマートフォン等の利用に関するガイドライン

近年、低年齢の子どもにもスマートフォンなどの機器が普及し、視力や睡眠など、健康への悪影響が懸念される中、兵庫県が昨年3月に医療関係の方からの専門的なアドバイスをもとに、青少年やその保護者にとって有用な情報をまとめています。 ※兵庫県 HP に掲載

その中の、スマートフォンやゲームを健康的に使うポイントを紹介します。

- 正しい姿勢で使うこと
- 寝る1時間前には使わないこと
- 家族や学校の友だちとの会話を大切にすること
- スマホやゲームの使い方のルールをつくること
- 長時間の連続使用を避け、適切に休憩をとること
- 外でたくさん遊ぶこと
- 規則正しい生活をする
- ※特に睡眠は大切です。

若者の居場所

心安らく居場所 ～つながり合って幸せに生きる～

NPO法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク
兵庫ひきこもり相談支援センター ドーナツの会

事務局長 戸田 和代
連絡先 TEL 0796-26-1101

ドーナツの会を発足して13年目になります。悩んでいる本人や家族が安心して過ごせる居場所づくりと相談活動、心のケアとしての就労支援をしています。年間の居場所利用実人数は150名を超えます。毎日、心のこもった手作りランチを提供し、仲間と温かい食卓を囲みます。こども食堂では、若者達が役割を持って働き、地域の人達と交流しながら自信をつけています。居場所とつながる就労支援事業所で、本人の体調に合わせて仕事を進め、生活リズムを整え、社会的自立をめざします。家から一步出たい・友達がほしい・勉強がしたい・働きたい等、ドーナツの会は、本人の「やってみよう」を応援する場所です。みんながドーナツのようにつながり合い、一人一人が大切にされる包摂型社会をめざしています。



青少年育成団体の取組

伝統行事「幟まわし」

宮内幟まわし保存会 会長 水島 義明

豊岡市出石町宮内の出石神社には、毎年5月5日のこどもの日、初節句を祝う行事に「幟まわし」があります。

昭和3年には行われていたとされる「幟まわし」の由来は天日槍命が、瀬戸を切り開き開拓し、意気揚々と出石に帰還した時の姿を模したものと伝えられています。少年会（男子中学生）が武者絵5本の幟で、神社を出発し、初節句の家・旧家・元庄屋及び辻で幟を掲げ、その場で竹ぼらと囃子で周回し祝います。現在では、初節句の男児・女児を神社で披露し、「幟まわし」の後に餅等が撒かれます。



数年前から、少子化による男子中学生が減少したため、男・女中学生主体に区民の協力を得て「宮内幟まわし保存会」を立ち上げました。豊岡市無形民俗文化財としての伝統行事を絶やすことなく継続し、守っています。

但馬青少年本部構成団体の活動

但馬ブロック民生委員児童委員連絡会

養父市民生委員児童委員協議会連合会会長 岸本 計二

社会の変化、多様化により、地域の色々な団体が衰退していく中、地区での地縁が希薄になっているように感じます。また、核家族化が進み、家庭や地域社会の絆も希薄になっています。私達は主に一人暮らし高齢者の方や子供達の見守り等を行いながら、時には良き相談相手と思っていただけるよう活動しています。青少年の非行には、少なからず小さい頃の不遇な体験がその後の人生に暗い影を落とすこともあると思います。また、少子化が急速に進む中、不登校、ネット犯罪、いじめなど問題も多様化、複雑化し子育てに悩み苦しむ家庭もあると思います。見て見ぬふりをするのではなく、悪い事は注意する、困った方がいれば相談に乗ったり助けてあげる、一人ひとりが当たり前の気持ちで接していく事が必要ですし、それが地域共生社会の機能を高めていくと思います。



特色ある学校の取組

養父市立養父小学校

「地域とともに」

本校所在地の養父地域は、江戸時代から鯉の養殖と鯉料理で有名な町でした。その歴史ある郷土料理のすばらしさに気づくと共に、目の前で生きた鯉を調理することで、命をいただくありがたさに感謝できる心を育てるために、毎年、養父校区自治協議会のご協力の下、鯉料理体験を行っています。味噌汁、甘露煮、フライ、うろこの唐揚げ、皮の湯引きなど、地域の方と一緒に料理に挑戦し、余すところなくおいしくいただきます。

その他、ホタルの学習、牛市見学など地域の方とふれあいがらふるさとの良さを学び、地域に誇りを持ち、貢献しようという気持ちを育んでいます。

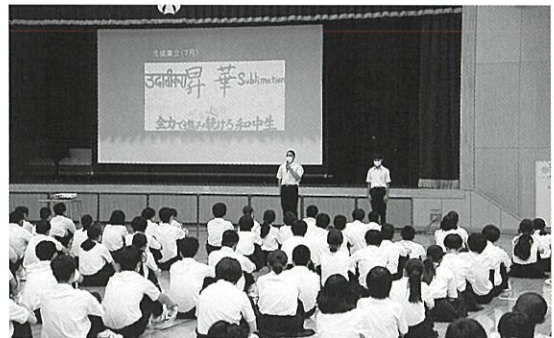
今後も貴重な経験と歴史を学び、ふるさとを愛する子どもたちの育成に取り組んでいきます。



朝来市立和田山中学校

「一人一人が輝ける学校を目指して」

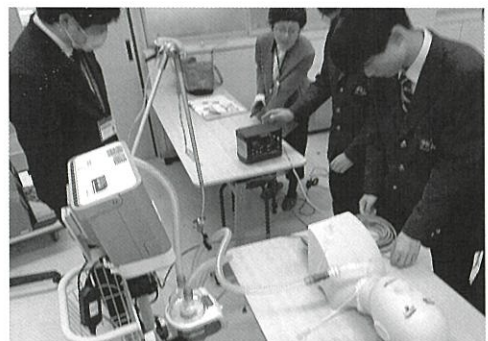
和田山中学校は本年度で、統合 56 年を迎えています。平成 29 年度の統合 50 周年に校訓「自立・敬愛・創造」が設定され、「学びに向かう力を育み、ともに励み合う学校」～和の志に、あふれた未来を担う人づくり～をめざし、和の志を大切に、学習や部活動に取り組んでいます。また、平成 26 年度から授業のユニバーサルデザイン化の取組が始まり、誰もが分かりやすい授業を生徒と教師が協力し、学校生活を送っています。そして、今年度は「昇華（しょうか）～全力で進み続ける和中生～」の生徒会スローガンのもと、和田山中学校の生徒一人一人が活躍できることを目指し、みんなが楽しく過ごすことができる学校づくりを地域の皆さんに協力していただきながら取り組んでいます。



兵庫県立豊岡総合高等学校

「県立高校魅力アップ推進事業『医療機器用電源ケーブルの作成』」

電機応用工学科では、県立高校特色づくり推進事業（インスパイア・ハイスクール）で近隣商業施設に足踏み式消毒液スタンドや閉園となる近隣幼稚園に記念品として園章入りLEDスタンドを贈呈するなど、学科の特徴を活かした様々な活動を実施してきました。今年度からは、スクール・ミッションなどに基づく魅力・特色づくりを推進する県立高校魅力アップ推進事業となり、豊岡健康福祉事務所・地元企業（マリヤ医科興業株式会社）と連携し、電源ケーブルの作成に取り組んでいます。患者さまが必要とする長さのものが市販では販売されていないため、手作りすることになりました。人工呼吸器と車のバッテリーをつなぐ非常用のものなので、大変重要な器具ですが、少しでも地域貢献になればという思いで取り組んでいます。



賛助会入会のお願い

但馬青少年本部では、21世紀の但馬を担う青少年の健全育成を目的とし、山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会、但馬中学生からのメッセージや但馬青少年本部長表彰など様々な事業を企画・実施しています。これらの事業は、活動趣旨にご賛同いただいた方からの賛助会費によって運営されています。当本部賛助会にご加入いただき、ご支援くださいますようお願いいたします。

寄附金制度

- 個人会員の場合 ▶ 2,000円を超える賛助会費は所得税の寄附金控除を受けることができます。
- 団体会員の場合 ▶ 特定公益増進法人に対する寄附金として、一般の寄附金とは別枠で損金算入されます。

特典 兵庫県立兎和野高原野外教育センター
兵庫県立円山川公苑美術館
兵庫県立美術館・神戸市立博物館 等
17施設の観覧料等の割引
が受けられます。

会費 個人 年間1口 2,000円
団体 年間1口 10,000円

申込 但馬青少年本部までご連絡ください。
(ご連絡後、振込用紙を送付させていただきます。)
☎0796-26-3648

青少年活動施設の紹介

兵庫県立兎和野高原野外教育センター 「四季折々のアウトドア体験!!」

兎和野高原野外教育センターは広大な敷地を有し、豊かな自然環境の中、自然学校をはじめ、林間学校・各種合宿・体験学習、冬季には雪遊び・スキー教室・スノーシューハイキング等四季を通して利用可能です。子ども会やPTA活動はもちろん、大人の団体も利用でき、家族や仲間でのオートキャンプも好評です。

『木の殿堂』では、組み木工作が体験できます。樹齡約500年の『兎和野の大カツラ』、本格的『フィールドアスレチック』も人気です。

地域での官民協同の連携を深め、「うわのツツジまつり」「姫ポタル・瀬川平トレイルラン」「秋の兎和野・瀬川平山岳歩こう会」などを行っています。



お問合せ・申込先

〒667-1336
兵庫県美方郡香美町村岡区宿 791-1
TEL 0796-94-0211
FAX 0796-94-0212
HP <https://www.uwano.jp/>
<https://www.kinodendo.jp/>

【但馬青少年本部構成団体 26団体】

日本ボーイスカウト但馬地区協議会
青少年育成運動推進指導員会
全但社会福祉協議会連絡会
こころ豊かな人づくり500人委員会但馬OB会
(一社)豊岡青年会議所
但馬社会教育委員連絡協議会
但馬地区県立学校長会
但馬スポーツ推進委員会
但馬教育事務所

ガールスカウト但馬地区協議会
但馬地区薬物乱用防止指導員協議会
但馬ブロック民生委員児童委員連絡会
但馬自治会
但馬教育委員会連合会
但馬PTA協議会
但馬中学校長会
兵庫県豊岡こども家庭センター
但馬県民局

但馬地区子ども会育成連絡協議会
但馬ブロック老人クラブ連絡協議会
兵庫県青年洋上大学但馬地区同窓会
但馬区長会連合会
但馬教育長会
但馬地区県立高等学校PTA連合会
但馬小学校長会
但馬方面警察署長会